2026　年度 授業計画(シラバス)

学　科	理学療法士学科		科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義演習
科目名	解剖学Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対象学年	1年		学期及び曜時限	後期	教室名	視聴覚室
担当教員	竹内　充香	実務経験とその関連資格				

《授業科目における学習内容》

書き込み式のプリント中心の授業で、国家試験対策も含め、重要ポイントをしっかりと学習し、系統的理解と知識の定着を目指す。

《成績評価の方法と基準》

本試験と小テストの結果、課題の提出

《使用教材(教科書)及び参考図書》

・プロメテウス解剖学コアアトラス 第4版

《授業外における学習方法》

事前に配布した授業プリントの空欄に、解答を見ながら、赤ペンで用語を書き込んでおいてください

《履修に当たっての留意点》

授業は書き込みがしてあるのを前提に進めます。そして重要ポイントや国家試験ポイントをチェックするための蛍光ペン(ピンクと緑)、色鉛筆・色ペン(ボールペンなど)も何色か準備しておいてください。授業プリントを分かりやすくするために使います。

授業の方法			内　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	循環器系(心臓血管系の基礎、心臓の構造)について理解する事ができる。	教科書 配布プリント	事前学習:授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む(30分) 事後学習:学習した内容を要点整理と確認問題のプリントで復習(30分)
		各コマにおける授業予定	循環器系(心臓血管系の基礎、心臓の構造)について学ぶ。		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	循環器系(心臓の内腔と血液の流れ、弁、心臓の栄養血管、心臓の刺激伝導系)について理解する事ができる。	教科書 配布プリント	事前学習:授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む(30分) 事後学習:学習した内容を要点整理と確認問題のプリントで復習(30分)
		各コマにおける授業予定	循環器系(心臓の内腔と血液の流れ、弁、心臓の栄養血管、心臓の刺激伝導系)について学ぶ。		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	循環器系(動脈系)について理解する事ができる。	教科書 配布プリント	事前学習:授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む(30分) 事後学習:学習した内容を要点整理と確認問題のプリントで復習(30分)
		各コマにおける授業予定	循環器系(動脈系)について学ぶ。		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	循環器系(静脈系)について理解する事ができる。	教科書 配布プリント	事前学習:授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む(30分) 事後学習:学習した内容を要点整理と確認問題のプリントで復習(30分)
		各コマにおける授業予定	循環器系(静脈系)について学ぶ。		
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	循環器系(胎児の血液循環、リンパ系、脾臓、胸腺)について理解する事ができる。	教科書 配布プリント	事前学習:授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む(30分) 事後学習:学習した内容を要点整理と確認問題のプリントで復習(30分)
		各コマにおける授業予定	循環器系(胎児の血液循環、リンパ系、脾臓、胸腺)について学ぶ。		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	循環器系（心臓と血管の生理）について理解する事ができる。	教科書 配布プリント	事前学習：授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む(30分) 事後学習：学習した内容を要点整理と確認問題のプリントで復習(30分)
		各コマにおける授業予定	循環器系（心臓と血管の生理）について学ぶ。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	体液について理解する事ができる。	教科書 配布プリント	事前学習：授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む(30分) 事後学習：学習した内容を要点整理と確認問題のプリントで復習(30分)
		各コマにおける授業予定	体液について学ぶ。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	免疫について理解する事ができる。	教科書 配布プリント	事前学習：授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む(30分) 事後学習：学習した内容を要点整理と確認問題のプリントで復習(30分)
		各コマにおける授業予定	免疫について学ぶ。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸器系（外呼吸、内呼吸、鼻腔、咽頭）について理解する事ができる。	教科書 配布プリント	事前学習：授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む(30分) 事後学習：学習した内容を要点整理と確認問題のプリントで復習(30分)
		各コマにおける授業予定	呼吸器系（外呼吸、内呼吸、鼻腔、咽頭）について学ぶ。		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸器系（喉頭、気管、気管支）について理解する事ができる。	教科書 配布プリント	事前学習：授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む(30分) 事後学習：学習した内容を要点整理と確認問題のプリントで復習(30分)
		各コマにおける授業予定	呼吸器系（喉頭、気管、気管支）について学ぶ。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸器系（肺、胸膜）について理解する事ができる。	教科書 配布プリント	事前学習：授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む(30分) 事後学習：学習した内容を要点整理と確認問題のプリントで復習(30分)
		各コマにおける授業予定	呼吸器系（肺、胸膜）について学ぶ。		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸器系（呼吸の生理）について理解する事ができる。	教科書 配布プリント	事前学習：授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む(30分) 事後学習：学習した内容を要点整理と確認問題のプリントで復習(30分)
		各コマにおける授業予定	呼吸器系（呼吸の生理）について学ぶ。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	消化器系（消化器系の全景、口腔）について理解する事ができる。	教科書 配布プリント	事前学習：授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む(30分) 事後学習：学習した内容を要点整理と確認問題のプリントで復習(30分)
		各コマにおける授業予定	消化器系（消化器系の全景、口腔）について学ぶ。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	消化器系（口腔、食道の構造と機能）について理解する事ができる。	教科書 配布プリント	事前学習：授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む(30分) 事後学習：学習した内容を要点整理と確認問題のプリントで復習(30分)
		各コマにおける授業予定	消化器系（口腔、食道の構造と機能）について学ぶ。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	消化器系（胃、小腸の構造と機能）の機能について理解する事ができる。	教科書 配布プリント	事前学習：授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む(30分) 事後学習：学習した内容を要点整理と確認問題のプリントで復習(30分)
		各コマにおける授業予定	消化器系（胃、小腸の構造と機能）の機能について学ぶ。		

2026　年度 授業計画(シラバス)

学　科	理学療法士学科	科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義演習
科目名	解剖学Ⅲ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対象学年	1年	学期及び曜時限	後期	教室名	視聴覚室
担当教員	竹内　充香	実務経験とその関連資格			

《授業科目における学習内容》

書き込み式のプリント中心の授業で、国家試験対策も含め、重要ポイントをしっかりと学習し、系統的理解と知識の定着を目指す。

《成績評価の方法と基準》

本試験と小テストの結果、課題の提出

《使用教材(教科書)及び参考図書》

・プロメテウス解剖学コアアトラス 第4版

《授業外における学習方法》

事前に配布した授業プリントの空欄に、解答を見ながら、赤ペンで用語を書き込んでおいてください

《履修に当たっての留意点》

授業は書き込みがしてあるのを前提に進めます。そして重要ポイントや国家試験ポイントをチェックするための蛍光ペン(ピンクと緑)、色鉛筆・色ペン(ボールペンなど)も何色か準備しておいてください。授業プリントを分かりやすくするために使います。

授業の方法		内容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	消化器系(大腸、肝臓の構造と機能)について理解する事ができる。	教科書 配布プリント	事前学習:授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む(30分) 事後学習:学習した内容を要点整理と確認問題のプリントで復習(30分)
		各コマにおける授業予定	消化器系(大腸、肝臓の構造と機能)について学ぶ。		
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	消化器系(肝臓の血管系、胆汁の組成とビリルビン代謝)について理解する事ができる。	教科書 配布プリント	事前学習:授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む(30分) 事後学習:学習した内容を要点整理と確認問題のプリントで復習(30分)
		各コマにおける授業予定	消化器系(肝臓の血管系、胆汁の組成とビリルビン代謝)について学ぶ。		
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	消化器系(胆道系の構造と機能、膵臓の構造と機能、腹膜)について理解する事ができる。	教科書 配布プリント	事前学習:授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む(30分) 事後学習:学習した内容を要点整理と確認問題のプリントで復習(30分)
		各コマにおける授業予定	消化器系(胆道系の構造と機能、膵臓の構造と機能、腹膜)について学ぶ。		
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	泌尿器系(腎臓の構造と機能)について理解する事ができる。	教科書 配布プリント	事前学習:授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む(30分) 事後学習:学習した内容を要点整理と確認問題のプリントで復習(30分)
		各コマにおける授業予定	泌尿器系(腎臓の構造と機能)について学ぶ。		
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	泌尿器系(尿管、膀胱、尿道の機能と構造)について理解する事ができる。	教科書 配布プリント	事前学習:授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む(30分) 事後学習:学習した内容を要点整理と確認問題のプリントで復習(30分)
		各コマにおける授業予定	泌尿器系(尿管、膀胱、尿道の機能と構造)について学ぶ。		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	生殖器系（男性生殖器）について理解する事ができる。	教科書 配布プリント	事前学習：授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む(30分) 事後学習：学習した内容を要点整理と確認問題のプリントで復習(30分)
		各コマにおける授業予定	生殖器系（男性生殖器）について学ぶ。		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	生殖器系（女性生殖器）について理解する事ができる。	教科書 配布プリント	事前学習：授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む(30分) 事後学習：学習した内容を要点整理と確認問題のプリントで復習(30分)
		各コマにおける授業予定	生殖器系（女性生殖器）について学ぶ。		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	内分泌系（内分泌とは、下垂体前葉）について理解する事ができる。	教科書 配布プリント	事前学習：授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む(30分) 事後学習：学習した内容を要点整理と確認問題のプリントで復習(30分)
		各コマにおける授業予定	内分泌系（内分泌とは、下垂体前葉）について学ぶ。		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	内分泌系（下垂体後葉、甲状腺、上皮小体）について理解する事ができる。	教科書 配布プリント	事前学習：授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む(30分) 事後学習：学習した内容を要点整理と確認問題のプリントで復習(30分)
		各コマにおける授業予定	内分泌系（下垂体後葉、甲状腺、上皮小体）について学ぶ。		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	内分泌系（膵臓、副腎皮質）について理解する事ができる。	教科書 配布プリント	事前学習：授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む(30分) 事後学習：学習した内容を要点整理と確認問題のプリントで復習(30分)
		各コマにおける授業予定	内分泌系（膵臓、副腎皮質）について学ぶ。		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	内分泌系（副腎髄質、松果体、ホルモン分泌の調節）について理解する事ができる。	教科書 配布プリント	事前学習：授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む(30分) 事後学習：学習した内容を要点整理と確認問題のプリントで復習(30分)
		各コマにおける授業予定	内分泌系（副腎髄質、松果体、ホルモン分泌の調節）について学ぶ。		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	熱産生と体温調節（体温、体熱の産生と放散）について理解する事ができる。	教科書 配布プリント	事前学習：授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む(30分) 事後学習：学習した内容を要点整理と確認問題のプリントで復習(30分)
		各コマにおける授業予定	熱産生と体温調節（体温、体熱の産生と放散）について学ぶ。		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	熱産生と体温調節（体温調節と異常、発汗）について理解する事ができる。	教科書 配布プリント	事前学習：授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む(30分) 事後学習：学習した内容を要点整理と確認問題のプリントで復習(30分)
		各コマにおける授業予定	熱産生と体温調節（体温調節と異常、発汗）について学ぶ。		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	感覚器系（皮膚、味覚器、嗅覚器、視覚器）について理解する事ができる。	教科書 配布プリント	事前学習：授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む(30分) 事後学習：学習した内容を要点整理と確認問題のプリントで復習(30分)
		各コマにおける授業予定	感覚器系（皮膚、味覚器、嗅覚器、視覚器）について学ぶ。		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	感覚器系（視覚器、平行聴覚器）について理解する事ができる。	教科書 配布プリント	事前学習：授業プリントの空欄に、赤ペンで用語を書き込む(30分) 事後学習：学習した内容を要点整理と確認問題のプリントで復習(30分)
		各コマにおける授業予定	感覚器系（視覚器、平行聴覚器）について学ぶ。		